

内科

## 日本で9つ目の糖尿病の新薬が登場しました

### 糖尿病の新薬について



お答え  
はまもと内科クリニック  
濱本博美 院長

■プロフィール 島根医科大学  
(現島根大学)医学部卒業。岡山  
大学附属病院、倉敷中央病院、  
心臓病センター榑原病院、日本  
鋼管福山病院、国家公務員共済  
組合虎の門病院、福山市民病院  
を経て2017年「はまもと内科ク  
リニック」を開院。日本糖尿病  
学会認定糖尿病専門医、日本内  
科学会認定総合内科専門医  
(くも) ☎084(943)4976はま  
もと内科クリニック (南蔵王町  
5-6-9) <http://hamamoto-naika.com/>

「はまもと内科クリニッ  
ック」の濱本博美院長に、  
糖尿病の新薬について聞  
きました。

Q 糖尿病の新薬につ  
いて教えてください。

A 今年9月、日本で  
は9種類目になる新しい  
血糖を下げる錠剤「イメ  
グリミン塩酸塩」が登場  
しました。今までの糖尿

病の薬といえば、すい臓  
の細胞膜にくっついてイ  
ンスリン(血糖を下げる  
ホルモン)を分泌させる  
ものや、糖の吸収を遅ら  
せるもの、尿の中に糖を  
排泄させるもの、肝臓や  
筋肉でのインスリンの効  
き目を改善させるもので  
した。今回の新薬は、ヒ  
トの細胞の中のミトコン  
ドリアという器官に作用  
する全く新しい薬です。

Q 作用機序は？

A ミトコンドリアの  
役割は、生命維持に必要

なエネルギーを産生する  
というものです。最近、すい  
臓細胞中のミトコンドリア  
の機能低下が、血糖値  
の異常に関係しているとい  
われています。

Q 効果や副作用につ  
いて教えてください。

A 国内で行われた臨  
床試験では、約1年間で  
糖尿病の指標「HbA1  
c」が単独で0・46%  
最大0・92%もの改善が  
認められています。イン  
スリン療法をしている場  
合は、使用単位が減った  
との報告もあります。

また、ミトコンドリア

自体の機能も改善させる  
ことで、すい臓をはじめ、  
全身の細胞を保護するた  
けでなく、動脈硬化など  
の原因となる活性酸素を

減少させ、脳梗塞・心筋  
梗塞など血管の病気のリ  
スクを減らすのではと期  
待されています。

Q 効果や副作用につ  
いて教えてください。

A 国内で行われた臨  
床試験では、約1年間で  
糖尿病の指標「HbA1  
c」が単独で0・46%  
最大0・92%もの改善が  
認められています。イン  
スリン療法をしている場  
合は、使用単位が減った  
との報告もあります。

また、ミトコンドリア

自体の機能も改善させる  
ことで、すい臓をはじめ、  
全身の細胞を保護するた  
けでなく、動脈硬化など  
の原因となる活性酸素を

減少させ、脳梗塞・心筋  
梗塞など血管の病気のリ  
スクを減らすのではと期  
待されています。

Q 効果や副作用につ  
いて教えてください。

A 国内で行われた臨  
床試験では、約1年間で  
糖尿病の指標「HbA1  
c」が単独で0・46%  
最大0・92%もの改善が  
認められています。イン  
スリン療法をしている場  
合は、使用単位が減った  
との報告もあります。

また、ミトコンドリア

自体の機能も改善させる  
ことで、すい臓をはじめ、  
全身の細胞を保護するた  
けでなく、動脈硬化など  
の原因となる活性酸素を

減少させ、脳梗塞・心筋  
梗塞など血管の病気のリ  
スクを減らすのではと期  
待されています。

Q 効果や副作用につ  
いて教えてください。